

アンリツ株式会社

2025年3月期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 通信計測事業のQ4の営業利益率が高かった理由を知りたい。

A1: 収益性が高いモバイル向け製品とデータセンター関連製品が好調でした。また、棚卸評価損が減少しました。

Q2: 通信計測事業のQ4の受注が増加したが、受注は回復してきているのか？

A2: 中国以外の地域でスマートフォンの開発投資が回復基調であり、データセンター関連の需要が引き続き好調でした。また、自動車関連の需要も増加してきており、受注は回復傾向にあるとみています。

Q3: 通信計測事業のFY2025の増収増益計画を達成するドライバは何か？

A3: モバイル関連としてNTN、Wi-Fi7、NG-eCall、SDV、5G搭載車、およびデータセンター関連として1.6TEの光トランシーバー、PCIeGen7をドライバとしてみており、これら需要を確実に取り込むことで増収を達成します。営業利益については、売上の増加と棚卸評価損の減少により増益を見込んでいます。

Q4: 環境計測事業のEV/電池向け試験装置の需要は今後も好調に推移するとみているのか？

A4: 顧客である国内メーカーの開発用途の試験需要は引き続き好調に推移するとみています。

Q5: 米国の関税措置による影響について教えてほしい。

A5: 米国の関税措置による影響は現時点では不透明であり、当社事業への影響も算定が困難です。なお、現在影響が最小になるように対応を行っています。具体的には、弊社は米国にも製造工場があり、米国内の生産を増やすなどの施策を検討しています。